SONY

3-867-925-**06**(2)

TV(1-3ch)・FM/AMクロックラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-CA1
ICF-CA2

* 3 8 6 7 9 2 5 0 6 * (2)

品 名	ラジオ
型 名	ICF-CA1/ICF-CA2
保証書	T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- 表示が見やすいアナログ時計を採用しています。
- ラジオとブザー2種類のアラームのうち、お好きな方でめざまし設定ができます。
- アラーム時刻合わせは、簡単操作のダイヤル式です。
- アラームを一度止めても繰り返し鳴らせることができるリピートアラーム機能を採用しています。
- 節電のため自動的に電源が切れるパワーオートオフ機能付き。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
  - 温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所(0℃以下)。
  - 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多い所。
  - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域ではテレビ2、またはテレビ3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

ラジオの音がまったく聞こえない

→乾電池の⊕⊖が逆になっている。
乾電池の⊕と⊖を正しく入れなおす。
→乾電池が消耗している。
乾電池を2本とも新しいものと交換する。
→音量が最小になっている。
VOLUME（音量）つまみで音量を調節する。

雑音が多く、音が悪い

→乾電池が消耗している。
乾電池を2本とも新しいものと交換する。
→電波が弱い。
窓側など受信状態のよい場所でお使いください。

ラジオの電源が突然切れた

→パワーオートオフ機能が働いている。
電源を入れてから約80～150分たつと、自動的に電源が切れます。さらにお聞きになりたいときは、もう一度RADIO ON/OFF（AUTO OFF）ボタンを押す。

時間が遅れる

→乾電池が消耗している。
時計用乾電池を新しいものと交換する。

設定した時刻にラジオやブザーが鳴らない

→現在時刻が正しくない。
正しい時刻を設定する。
→アラーム時刻が正しくない。
設定したい時刻を確認する。
→ALARM ▷ダイヤルを右に回した。
ALARM ▷ダイヤルを右に回すと、合わせた時刻より早く鳴り出すことがあります。
→ラジオで聞きたい局に合っていない。
ラジオで聞きたい局に合わせる。
→ラジオで設定したとき、音量を最小にした。
VOLUME（音量）つまみを上へ回して音量を調節する。

主な仕様

受信周波数	FM：76～108MHz（TV1～3チャンネル）*1 AM：530～1,710kHz
スピーカー	直径5.7cm　丸型8Ω 1個
実用最大出力	100 mW（JEITA*2）
電源	ラジオ用：DC 3V、単3形乾電池2本 時計用：DC 1.5V、単3形乾電池1本
パワーオートオフ機能	約80～150分
最大外形寸法	約94×97×87mm（幅/高さ/奥行き）（JEITA）
質量	約390g（乾電池含む）

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

*2 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単3形乾電池（お試し用*）（3）
取扱説明書・保証書（1）

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

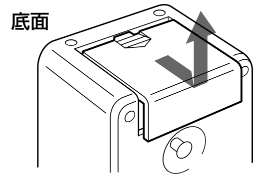
左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

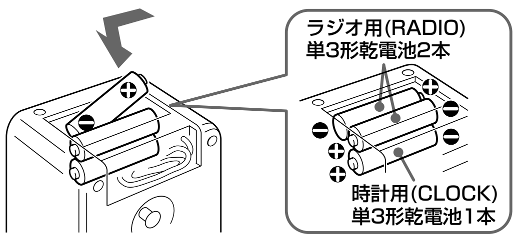
乾電池を入れる

1 電池入れのふたを開ける。

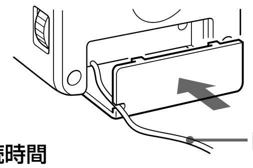


2 単3形乾電池を3本入れる。

⊕⊖の向きを電池入れ内の表示に合わせ、必ず3本とも⊖側から入れてください。
時計用乾電池を入れるとき、リボンをしいておくと取り出すときに便利です。



3 FMワイヤーアンテナを引き出し、溝に通しながらふたを閉める。



乾電池の持続時間

ソニー単3形(R6)マンガン乾電池使用時

ラジオ	FM(TV1-3ch):約35時間　AM:約41時間(JEITA*)
時計	約1年

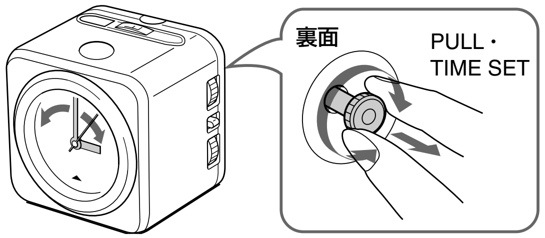
* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

	交換する電池
ラジオの音が小さくなったり、ひずんだりしたら	ラジオ用:2本
時計が遅れるようになったら	時計用:1本

時計を合わせる

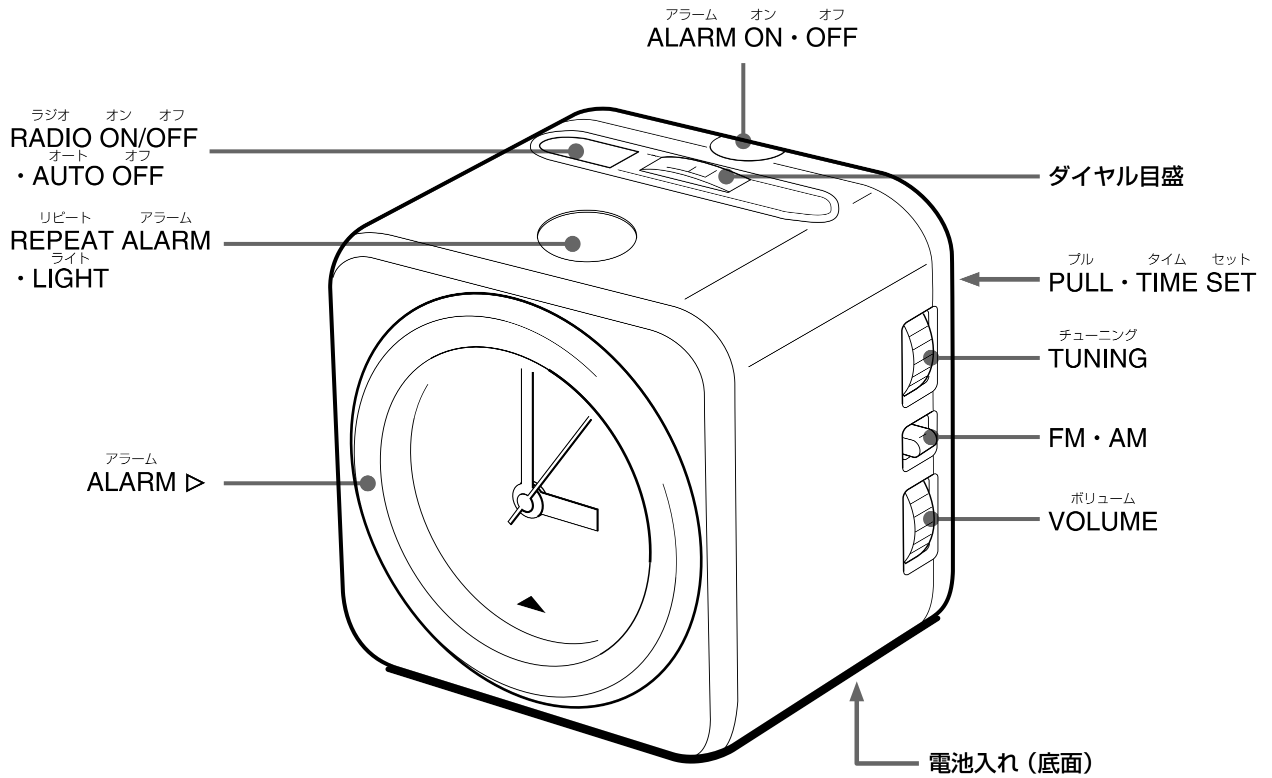
PULL・TIME SET(引く・現在時刻)つまみを引いて、合わせます。時計を合わせたら、必ずPULL・TIME SETつまみを押し戻してください。



暗いところで時計を見るには

REPEAT ALARM・LIGHTボタンを押している間、時計部分が照明されます。

各部のなまえ



ラジオを聞く

1 RADIO ON/OFF(AUTO OFF)ボタンを押して電源を入れる。

電源の消し忘れによる乾電池のむだな消耗を防ぐため、約80〜150分後に自動的に電源が切れるようになっています。

2 FM・AMスイッチを切り換える。

TV(1-3ch)を聞く場合はFMに合わせます。

3 TUNING(選局)つまみで放送局を選ぶ。

4 VOLUME(音量)つまみで音量を調節する。

ラジオを止めるには

RADIO ON/OFF(AUTO OFF)ボタンを押して電源を切ります。

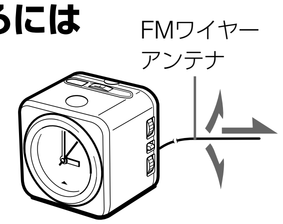
ラジオの電源が突然切れてしまったときは

このラジオは、消し忘れによる乾電池のむだな消耗を防ぐために自動的に電源が切れるようになっています(パワーオートオフ機能)。電源が切れるまでの時間は電池残量により異なり、約80〜150分後です。
電源が切れた後、さらにお聞きになりたいときは、もう一度RADIO ON/OFF(AUTO OFF)ボタンを押して電源を入れてください。
RADIO ON/OFF(AUTO OFF)を押しても電源が入らない場合や、**パワーオートオフ機能が働いていないのに電源が切れる場合は、乾電池が消耗していますので新しい乾電池と交換してください。**

受信状態をよくするには

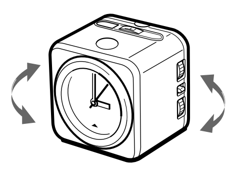
FM(TV1-3ch)放送の場合:

FMワイヤーアンテナを引き出して、受信状態の良い方向に伸ばしてお使いください。



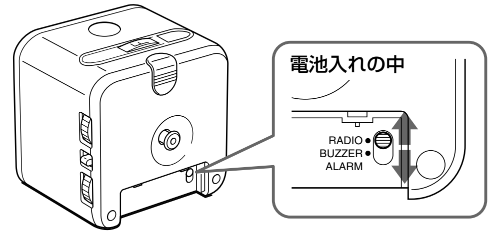
AM放送の場合:

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最もよく受信できる向きにしてお聞きください。



ラジオやブザーで起きるには

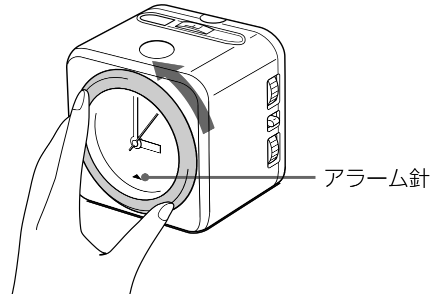
1 ALARM切り換えスイッチをRADIOまたはBUZZERに合わせる。



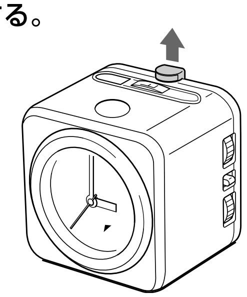
ラジオで起きる場合には「ラジオを聞く」の順にしたがって、聞きたい局を選び、音量を調節したら、RADIO ON/OFF(AUTO OFF)ボタンを押して電源を切ります。

2 ALARM ▷ ダイヤルを必ず左に回して、起きたい時刻に合わせる。

1回カチッと動かすたびに、10分ずつ動きます。



3 ALARM ON・OFFスイッチを上へ引き出しONにする。



設定した時刻になると、ラジオまたはブザーが鳴ります。
約30分後、自動的に止まります。

ご注意

ALARM ▷ダイヤルを右に回して時刻を合わせると、合わせた時刻より早く鳴り出すことがことがあります。

もう少し眠っていたいとき(REPEAT ALARM機能)

REPEAT ALARM・LIGHTボタンを押します。
ラジオやブザーの音がいったん止まり、約5分後に再び鳴ります。
この機能はALARM ON・OFFスイッチをOFFにしない限りくり返すことができます。

ラジオやブザーを止めるには

ALARM ON・OFFスイッチを押し下げて、OFFにします。